がんばろう南房総

南房総の風

［発行］
南房総教育事務所
令和８年５月１９日
第 ６ 号
文責　特別支援教育班

特別支援教育におけるＩＣＴ活用について

特別支援教育においてＩＣＴを活用するには、下図の２つの視点が必要になります。
視点をしっかり押さえて、一人一人に合ったＩＣＴ活用を進めていきましょう。

障害のある子供たちにとってＩＣＴは子供たちの努力だけでは解決できないことを大きく減らし、学習活動やコミュニケーションの本来の目的に集中しやすくするためのツールになります。

何がうまくできないのか、何につまずいているのかを自立活動の視点で捉えてから活用を考えることで、より効果的なＩＣＴによる支援が実現します。

１．特別支援教育におけるICT活用の視点

視点１
教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりするために、ICTを活用する視点

- 教科等又は教科等横断的な視点に立った資質・能力であり、**障害の有無や学校種を超えた共通の視点**。
- 各教科等の授業において、**他の児童生徒と同様に実施**。

視点２
障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するために、ICTを活用する視点

- **自立活動**の視点であり、特別な支援が必要な児童生徒に特化した視点。

各教科及び自立活動の授業において、**個々の実態等に応じて実施**。

✓ 新特別支援学校学習指導要領では

各教科の指導計画の作成に当たっての配慮事項として、**各障害種ごとにコンピュータ等のＩＣＴの活用に関する規定**を示し、指導方法の工夫を行うことや、指導の効果を高めることを求めている。

【特別支援教育における ICT の活用について　文部科学省】

観点	A コミュニケーション支援		B 活動支援			C 学習支援		
項目	A1 意思伝達支援	A2 遠隔コミュニケーション支援	B1 情報入手支援	B2 機器操作支援	B3 時間支援	C1 教科学習支援	C2 認知発達支援	C3 社会生活支援
事例	タブレットPCの文字入力機能を使った実践	タブレットPCの文字入力機能を使った実践	教科書を読む際に、読み上げ音声で内容を理解	タブレットPCで写真を撮る	授業の流れを理解する	タブレットPCとアプリを利用した漢字学習支援	タブレットPCなどを使いながら個々の学習課題を支援した事例	自分の姿を振り返るモニタリング事例

【特別支援教育でＩＣＴを活用しよう　国立特別支援教育総合研究所】

どのようにＩＣＴを活用するのかを考えたら、国立特別支援教育総合研究所による「ＩＣＴ活用の観点」のどこに当てはまるのか確認してみましょう。

ＩＣＴ活用事例の多くは、この観点で整理されています。

国立特別支援教育総合研究所
特別支援教育教材ポータルサイト
https://kyozai.nise.go.jp/

全国のＩＣＴ活用事例を見ることができます。
随時、事例が更新されています。

千葉県総合教育センターの令和６・７年度の調査研究事業で「特別支援教育におけるＩＣＴ機器の利活用実践事例集」が総合教育センターのホームページで紹介されています。２つの視点を踏まえた実践事例集となっています。

【「令和６・７年度調査研究事業　成果物　特別支援教育におけるＩＣＴ機器の利活用実践事例集」紹介リーフレット】

鮮明な画像が見られますので、ぜひホームページへアクセスしてください。

子供たち一人一人に合ったＩＣＴ活用ができるようになると、子供たちは学習活動の本来の目的に向かって取り組むことができるようになります。分からなかったことが分かるようになることは子供たちの「もっとやってみよう！」「がんばろう！」という意欲につながります。学習活動やコミュニケーションの意欲をもった子供たちはより積極的に活動に取り組み、さらに成長していきます。ＩＣＴは、子供たちが本来もっている可能性を広げることのできる支援ツールです。